

寄り添い つながる 広報誌

# 福祉 わかやま

2025  
2.3 月号  
vol.448



## 今月の表紙

避難所における  
福祉ニーズへの支援を考える  
(P2～4に関連記事)

この広報誌の発行に一部共同  
募金助成金を利用しています。



## 県内社会福祉協議会、社会福祉法人等による 被災地支援を考える

～令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害への被災地支援の経験から～

県社協の情報など  
SNSで発信中



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

# 県内社会福祉協議会、 社会福祉法人等による 被災地支援を考える

～令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害への  
被災地支援の経験から～

令和6年元日に発生した能登半島地震、同年9月に発生した奥能登豪雨災害では、石川県内を中心に甚大な被害をもたらしました。

半壊、全壊等の住宅被害により、避難所等への長期的な避難を余儀なくされる方が多くいらっしゃる中、全国の社会福祉協議会、社会福祉法人等は力を結集して被災者の生活支援にあたりました。

和歌山県内の社協、社会福祉法人等からも、被災地の災害ボランティアセンター(以下、「災害VC」)の運営支援や和歌山県災害派遣福祉チーム(以下、「和歌山DWAT」)の派遣により被災者に寄り添った支援を行いました。奥能登豪雨災害にかかる輪島市災害VCへの運営支援は、令和6年12月23日で終了したところです。

今号の特集では、ほぼ1年という長期にわたる被災地支援の取組を報告するとともに、今後、県内での発災を想定した災害支援活動について、県社協を中心とした取組やその課題について考えます。

## 和歌山県内の社会福祉協議会、社会福祉法人等による被災地支援活動

※県社協が実施・連絡調整した活動

### 1.和歌山県災害派遣福祉チーム (和歌山DWAT)の派遣

(県内での取組は3ページに掲載)

国及び全社協からの要請に基づき、和歌山DWATとして派遣職員を構成、令和6年3月16日から4月2日にかけて4クール、計12名(1クールあたり3名、5泊6日)を金沢市の1.5次避難所に派遣し、福祉的ニーズへの支援が必要な方の把握、必要な連絡調整、相談支援などの運営支援を行いました。



1.5次避難所で避難者から相談を受ける



全国からの派遣職員と共に活動にあたる

### 3.近畿社会福祉法人経営者協議会(経営協) 「1.5次避難所」への介護職員等派遣

国及び全国経営協からの介護職員等派遣依頼に応じ、県経営協(事務局:県社協)は、令和6年2月29日から4月2日にかけて4クール、計7名(1クールあたり1～3名、5泊6日)を金沢市の1.5次避難所に派遣。増加している要介護者への介護業務等を行いました。



1.5次避難所で介護業務にあたる応援職員

石川県

輪島市

能登町

七尾市

羽咋市

金沢市

富山県

福井県

岐阜県

### 4.緊急小口資金等特例貸付にかかる 職員派遣

被災世帯への特例貸付を行うにあたり、全社協からの要請に基づき、令和6年1月26日から30日まで、県社協から輪島市社協へ1名の職員派遣を行い、貸付業務の応援にありました。

### 5.被災地支援を目的としたボランティア バスの運行

(詳細については、福祉わかやま令和7年1月号の特集記事をご覧ください。)

### 2.被災地災害ボランティアセンター (災害VC)の運営支援

(県内での取組は4ページに掲載)

石川県及び全社協から応援要請を受け、近畿ブロック災害時相互支援協定及び(和歌山県内)社協間災害時相互支援協定に基づき、令和6年1月25日から12月23日まで、県社協で調整の上、1クール原則6泊7日として県内の社協から1名を羽咋市災害VC(1/25～4/3)、七尾市災害VC(4/1～6/30)、輪島市災害VC(10/18～12/23)へ、全44クール延べ46名の職員派遣を行いました。



七尾市災害VCでボランティアへオリエンテーションする応援職員

# 和歌山県災害派遣福祉チーム

## (和歌山DWAAT)を組織化

大規模災害時の避難所における福祉ニーズに備える

### 和歌山DWAAT発定から1年が経過

和歌山県と県社協は、大規模災害時における要配慮者への福祉支援が円滑に実施できるよう、県内の福祉関係団体の連携による支援体制「和歌山県災害福祉支援ネットワーク」を令和5年10月に構築しました。このネットワークの中心的な活動が「和歌山県災害派遣福祉チーム(和歌山DWAAT※)」です。

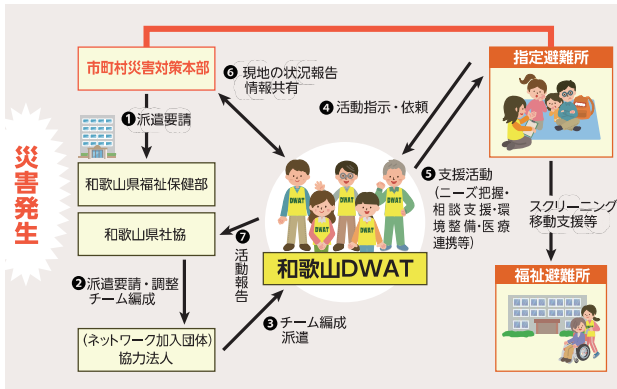
和歌山DWAATとは、ネットワークを構成する福祉関係団体に所属する福祉施設等の職員で、所定の研修を修了した者の中から、1チーム4〜5名程度で編成する福祉専門職チームです。県内の構成員は計124名です(R5年度90名、R6年度34名登録)。

### 和歌山県 災害福祉支援ネットワーク 構成団体

- ・和歌山県社会福祉法人経営者協議会
- ・和歌山県児童福祉施設連絡協議会
- ・(一社)和歌山県老人福祉施設協議会
- ・和歌山県訪問介護事業所協議会
- ・和歌山県知的障害者福祉協会
- ・和歌山県療護施設連絡協議会
- ・和歌山県保育連合会
- ・和歌山県
- ・(社福)和歌山県社会福祉協議会

※Disaster Welfare Assistance Teamの略

### 派遣要請から活動までの流れ



災害発生時、被災した市町村から県に派遣要請があった場合等に、ネットワーク事務局である県と県社協がチームを編成して被災地へ派遣、被災した市町村が指定する一般避難所等で高齢者、障がい者、児、妊産婦、乳幼児等、特別の配慮を必要とする方の生活を支えるべく、支援活動を行います。

主な支援活動としては、①要配慮者のスクリーニングやアセスメント、②日常生活上の相談支援や介助等、③避難所の環境整備、④保健医療活動チーム等との連携等です。

来るべき時に備え、

さらなるスキルアップを進める

まだ発定して1年余りのチームでもあることから、実践活動は令和6年能登半島地震への派遣のみとなっています。今後、県内における大規模災

### 令和6年度県災害派遣福祉チーム登録時研修を実施

新たに34名が修了

令和6年12月24日、和歌山県勤労福祉会館プラザホール(和歌山市)において、「令和6年度和歌山県災害派遣福祉チーム登録時研修」を開催しました。

研修では、(社福)和歌山つくし会つ

くし医療福祉センターの理学療法士小

山有佳乃さん、有限会社Vivifalia

島ゆかこ代表取締役の島由佳子さんか

ら、令和6年能登半島地震による金沢

市の1.5次避難所における支援活動につ

いて、それぞれ報告がありました。小

山さんからは避難所のテントに引きこ

もりがちで相談支援を拒否される高齢

者と関わる中で、散歩に誘って日向

ぼっこする中で心を開いてくれ、避難

者の前向きな気持ちに寄り添うことが

できた、とのエピソードが紹介されま

した。また、島さん

からは、「避難所運

営支援において大事

なことは、「自助・共

助・公助」が構築され

ていること、そして



金沢市での支援活動報告をしてくれた  
小山さん(写真左)と島さん

害時の支援活動を念頭に、構成員のさらなる増加に向けた普及啓発、フォローアップ研修によるスキルアップ、災害対応訓練への参加などの取組を進める必要があります。

に機能することで「等」との報告がありました。

講師を務めた華頂短期大学幼児教育学科教授で京都



講師を務めていただいた  
武田先生

DWAATの特別アドバイザーでもある武田康晴先生から、基調講義及び避難所における福祉ニーズやそれに対する支援などについて、グループワークを通じて考える演習が行われました。武田先生からは、DWAAT活動で大事なことは、「二次被害の防止と被災地域の自立性の尊重」を心がけること、正解は一つではないからこそ、皆で考えてよい支援を行う必要がある、そのためには普段から自分たちの地域、事業所に働きかけていくことが大切である、などのお話がありました。

DWAAT活動の経験豊富な武田先生からの講演、演習に受講者の皆さんは熱心に聴き、積極的に参加する姿が見られました(表紙写真)。

# 市町村災害ボランティアセンター

## (災害V.C)の運営支援

〜常設型県災害V.Cとして大切にしてきたこと、大切にしていきたいこと〜

県社協では、平成20年10月に常設型の県災害V.Cを設置し、16年が経過しました。その間にも県内外の被災地社協が災害V.Cを立上げ(もしくは立上げずに)、被災者に寄り添った支援活動ができるよう、後方支援に取り組んできました。県災害V.Cのこれまでの取組を振り返り、これまで大切にしてきたこと、これからも大切にしていきたいことを検証します。

### 災害V.C活動運営支援者の3原則を大切に

災害V.C運営支援の3原則は「被災者中心・地元主体・協働」です。これは、被災者の想いに寄り添い、地元の意向を確認しつつ、多機関と協働しながら被災地災害V.Cの運営にあたるための3原則として常に心がけると共に、県内の支援者にも訓練や研修等において、その本質を学ぶ機会を設けてきました。

### ヒト(仲間)を大切に

平成24年から災害ボランティアの登録を行っており、現在651名の方が登録されています。ボランティアバスの運行やストックヤードの整備、訓練

### 大切にしていきたいこと

への参加など、随時情報を発信するともに平時にも、災害時にも心強い存在です。

また、災害V.Cの設置・運営が主体的に行えるよう、市町村社協職員から「支援者並びに」運営支援中核者(現在、15名)のリスト化(登録・育成)を進めています。

協働型の災害V.Cをめざして、関係機関との連携を強化すべく、41団体により県災害V.Cを構成しています。また、災害ボランティア活動支援にかかわる協定を結び、災害V.C運営者の人員サポートや必要な物資の提供等、迅速な災害V.C運営の強力なパートナーとして欠かせない存在です。

### モノを大切に

災害時に駆けつけてくれるボランティアが迅速かつ丁寧な支援活動を行えるよう、市町村や市町村社協の協力を得て県内18か所にストックヤードを設置し、資機材を整備しています。



ストックヤードの整理もボランティアさんと共に

### 経験を大切に

令和6年能登半島地震にかかる災害V.C運営支援振り返り会を令和6年7月26日に実施。羽咋市、七尾市の各災害V.Cへの応援派遣職員を中心に32名の参加があり、「災害支援で感じた大事

### まとめに代えて

今回、能登半島で起こった地震災害では、災害による道路環境の悪さ、災害支援にあたる人員の宿泊場所の確保が困難、避難が県内外含め広域に及んだなど、復旧・復興支援に向けた多くのハードルが課題として浮き彫りになりました。同じく紀伊「半島」に位置する和歌山県としては、今回の被災地支援にかかる経験を糧とし、今後、発生が想定されている南海トラフ巨大地震への備えとして、同様の課題を想定し、着実に取組を進めていく必要があります。

そのためには、福祉関係者のみならず、医療、保健分野をはじめ、他分野とも手をつないで知恵と力を結集し、被災者の生活に寄り添った復旧・復興支援ができるよう、「**日頃から関係者との顔の見える関係性の構築、お互いを知り合い、役割を解り合うこと**」が、今回の経験から得た大切な共通のキーワードであることが確認できました。

県社協としては、これら一つひとつの課題に対して県内市町村社協、社会福祉法人をはじめ、関係機関・団体の皆様と共に取り組んでいきます。



▲羽咋チーム ▼七尾チーム



振り返り会にて「大事なこと」を再確認

なこと」、「大事なことを具現化するために」をテーマに参加者で意見を出し合いました。  
コミュニケーション、信頼関係の構築力、生活者の視点に立つこと、展望を共に描く力などが大事なキーワードとして挙がり、今後、訓練や研修ほか各事業・地域活動を通じて高めあつていくことを確認しました。

# 賛助会費の納入 ありがとうございます

本会では、より多くの方々に社会福祉活動・地域福祉活動へのご支援とご理解をいただくため、「賛助会員制度」を設けています。いただいた会費は、本会の活動に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

## 令和6年度に賛助会費を納入いただいた方々(35法人)

法人名	市町村名
株式会社パルネット	和歌山市
株式会社あすなろ	有田市
株式会社野佐商店	和歌山市
セガワテント	和歌山市
株式会社介護ステーションオアシス	和歌山市
株式会社紀州商合印刷	和歌山市
日本生命保険相互会社和歌山支社	和歌山市
ミカサ事務機株式会社	有田市
東洋羽毛関西販売株式会社	吹田市
有限会社トータルケアサービス	和歌山市
株式会社クリエイター	和歌山市
住友生命保険相互会社和歌山支社	和歌山市
東武トップツアーズ株式会社和歌山支店	和歌山市
中和印刷紙器株式会社	和歌山市
株式会社さかぐち昇和印刷	和歌山市
ノイエス株式会社	和歌山市
株式会社大紀商工	海南市
株式会社オークワ	和歌山市

法人名	市町村名
医療法人日進会	那智勝浦町
西日本自動車共済協同組合	大阪市
株式会社大黒ヘルスケアサービス	和歌山市
株式会社和歌山リビング新聞社	和歌山市
センゴクベンダー株式会社	和歌山市
一般社団法人生命保険協会和歌山県協会	和歌山市
和歌山高齢者生活協同組合	和歌山市
雑賀輝正事務所	和歌山市
株式会社貴志	和歌山市
有田鉄道株式会社	有田川町
株式会社アベックス西日本和歌山営業所	和歌山市
アイレス電子工業株式会社	海南市
株式会社稲葉	和歌山市
串本タクシー株式会社	串本町
セイコーメディカル株式会社	和歌山市
一般財団法人和歌山社会経済研究所	和歌山市
株式会社フォーライフ	和歌山市

(令和7年1月9日現在・順不同、敬称略)

【お問合せ先】総務企画部 総務経営班 TEL073-435-5222



スマホからも、  
募金できます♪



**PayPay**  
スマホで募金!  
PayPayで募金できます

赤い羽根共同募金は、2024年10月1日からインターネットを通じてオンライン決済の一つとして、「PayPay」での決済が導入されました。今までのクレジットカード決済、コンビニ決済、携帯電話のキャリア決済等に加え、「PayPay」決済が選択できるようになりました。また、「PayPay」では、匿名寄付もできますので、手軽にご寄付いただけるようになりました。皆様からお寄せいただいた募金は福祉車両の購入や、高齢者の見守り支援、子ども食堂への支援など、身の周りの身近な福祉活動に充てられます。皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金  
「PayPay」でのご寄付  
いただけます

赤い羽根 わかやま



**お問合せ先** 社会福祉法人和歌山県共同募金会  
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2  
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階  
TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

**HP** <https://www.akaihane-wakayama.or.jp/>

# みんなの居場所プラットホーム



ポーズはプラットホーム部の「P」です。

## 和歌山大学

### 「プラットホーム部」

和歌山大学の学生63名(令和6年12月現在)で構成される「プラットホーム部」は、学校に行くことがしんどくなった小学生から高校生までの子どもたちの支援と居場所の提供をしています。教育学部だけでなく、経済・観光・システム工学部の学生が共に企画、運営しており、創部以来35年間、子どもたちにそっと寄り添ってきました。

子どもたちとの居場所は、地域の体育館等を会場に定期開催しています。内容は学生が企画した「運動」「工作」「スペシャルイベント」など毎回のお楽しみ。夏休みにはキャンプも行います。部の取組を幅広く知ってもらえるよう、案内時には学生の想いを「しおり」にして紀北地域のすべての小学校に案内。たくさんの参加をいただけるようになりました。

当日はゲームをしたりおしゃべりをしたり。みんな思い思いの時間を過ごせる、子どもたちにとっても、学生たちにとっても居心地の良い居場所を目指しています。

### 主役は子どもたち

#### 部長 出口 遼さん(教育学部2年生)

学生は、さりげなく子どもたちに声をかけます。私たちは「主役は子どもたち」との想いで、見守ることを意識しています。

子どもたちと同じ目線で話ができるよう

に心がけることで、自然と心を開いてくれる子どもも多く、やりがいを感じています。

### いつでもここにいますよ

#### 部員 斉藤 優太さん(経済学部1年生)

高校生の頃、学校に行けない時がありました。「プラットホーム部」の活動を知り、自身の経験を活かせるのではと思い入部しました。はじめは責任の重さを感じ、自分が何ができるのかと悩みましたが、今は子どもたちと一緒にあそび、そこに居るだけでもいいのかなと思っています。

#### 「プラットホーム部」名前の由来

社会や環境によって敷かれたレールの上を、休まず電車に乗って進んできた子どもたち。疲れて、自分自身を見失い始めてしまった彼らが、電車から降りて、身体と心をリラックスさせる場、それが「プラットホーム」。そこから自分で決めた道を進んでいく。「プラットホーム」という名は、彼らを迎え入れ、再び送り出す存在でありたい、との想いで名づけられました。



左から出口 遼さん、斉藤 優太さん

## 福祉人材キャリア形成支援研修 申込受付中

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
福祉サービス接遇 マナー研修(紀北編)	4月23日(水) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	4月4日(金)
福祉サービス接遇 マナー研修(紀南編)	4月25日(金) 10:25~16:00	ビッグ・ユウ(田辺市)	4月4日(金)
社会福祉や対人援助の 特性を学ぶ!(基礎編)	5月21日(水) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	4月30日(水)
社会福祉や対人援助の 特性を学ぶ!(実践編)	5月29日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	5月8日(木)
ファシリテーション研修	6月4日(水) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	5月14日(水)
質の高い仕事の進め方 のノウハウを学ぶ!	6月12日(木) 10:25~16:00	和歌山ビッグ愛	5月22日(木)
福祉レクリエーション 研修	6月18日(水) 10:25~16:00	和歌山市紀の国住宅 東部コミュニティセンター	5月28日(水)

※研修の受講には、受講料がかかります。  
 ※定員(先着)になり次第締め切ります。  
 ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。  
 ※感染症や自然災害等の事由によっては、中止になる場合があります。  
 ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。  
 【お問合せ先】県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内) TEL073-435-5210



まなぶぞう

## 今月の情報発信コーナー

### 第3回 福祉・介護・保育の就職フェア わかやま

福祉の仕事に興味・関心のある方を対象に、和歌山市で福祉職に特化した就職フェアを開催します。  
 参加費無料。事前申込み不要。来場者には参加特典のほか、特別企画による豪華景品もご用意しています。  
 ぜひ、ご参加ください。



- 日 時:** 3月18日(火)  
 13:30~16:00(受付13:00~)
- 会 場:** 和歌山ビッグ愛1階 展示ホール  
 (和歌山市手平2丁目1-2)
- 内 容:** ①対面又はオンラインによる個別面談会  
 ②各種相談コーナー  
 ③職場見学・職場体験受付コーナー

手話通訳・要約筆記・託児が必要な方は3月4日(火)までに下記までご連絡ください。  
**【お問合せ先】**  
 県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)  
 TEL073-435-5211

令和6年度  
 社会福祉施設  
 総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ぶくしの保険  検索

老人福祉施設、  
 障害者支援施設、  
 児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で  
 充実補償をご提供します!**

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

#### ① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶ 年額保険料(掛金)		
	定員	基本補償(A型)
補基本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	



- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 職員等の補償
- プラン4 法人役員等の補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 TEL: 03(3349)5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



## 「成年後見制度出前講座」をご活用ください！

成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力の不十分な方が地域で安心して暮らすことができるよう、権利と財産を守るしくみです。

県成年後見支援センターでは、広く多くの方に成年後見制度を理解していただく機会として、出前講座を開催しています。



成年後見制度利用促進  
マスコットキャラクター  
後犬ちゃん

**時間** 60分程度 平日9:00～17:00  
(※時間外・休日については要相談)

**内容** 成年後見制度の概要(制度の基本的な説明)  
※個別の相談等、内容によっては他の関係機関をご案内させていただく場合がありますので、予め御了承ください。

**対象** 県内に所在する福祉関係事業所及び団体  
※中核機関の設置がない市町村からの依頼を優先させていただきます。

中核機関とは…各市町村で成年後見制度の相談対応や後見人候補者の調整等を行い、地域において制度利用を促進するためのコーディネイト役を担う機関。市区町村直営または社会福祉協議会やNPO法人などに運営を委託している。

**費用** 無料(会場費等は御負担願います。)

**申込方法** 実施希望日の1か月前までに、所定の申込書により、FAXまたはメールでお申込みください。まずは、お気軽にご相談ください。

【申込み・お問合せ先】  
県成年後見支援センター(県社協内)  
TEL 073-435-5248 FAX 073-435-5221  
E-mail kenri@wakayamakenshakyoo.or.jp

「安心・安全」をモットーに



## パン工房サンフルひだかの「焼き立てパン」



社会福祉法人太陽福祉会の就労継続支援B型事業所パン工房サンフルひだかの種類豊富な「焼き立てパン」をご紹介します。惣菜パンや菓子パンはもちろん、炊き立てのお米を入れて焼き上げたオリジナルの「ライス



ブレッド」やドライフルーツがたくさん入った「パネトーネ」など、100種類以上あるパンはどれも絶品。利用者職員が一丸となり、心を込めて1日500個以上を工房で焼き上げています。

地域の福祉施設や病院の朝食用のパンとして注文を受けたり、1か月に約50か所で訪問販売もするなど、地域の皆様から愛されているパン屋さんです。ぜひ一度、訪れてみてください。

お問合せ先

社会福祉法人 太陽福祉会  
パン工房サンフルひだか

住所 日高郡日高町小中521-5

TEL 0738-63-1888

営業時間 9:00～17:00(定休日:日月祝)

ホームページ



## いきいき長寿社会センターからのご案内

令和7年度いきいきシニアリーダーカレッジの受講生を募集します。

高齢者の社会参加活動を促進し、地域活動をリードする人材を養成する講座を開講します。

いきいきシニアリーダーカレッジ 和歌山校

【時期】5月～令和8年2月 原則第2、第4水曜日 全18回

【会場】和歌山ビッグ愛 会議室他 ※田辺校、橋本校もございます。

プログラム・日程等詳しくは本会ホームページ、もしくは下記までご連絡ください。

【お問合せ・お申込先】県いきいき長寿社会センター(県社協内) TEL 073-435-5214 FAX 073-435-5221

